



2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年7月26日

上場会社名 エムケー精工株式会社

上場取引所 東

コード番号 5906 URL <https://www.mkseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 将一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 酒向 邦明

TEL 026-272-0601

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年3月21日～2024年6月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	7,040	14.0	731	168.6	768	161.8	515	220.8
2024年3月期第1四半期	6,175	13.7	272	127.0	293	118.7	160	113.8

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 697百万円 (147.0%) 2024年3月期第1四半期 282百万円 (82.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2025年3月期第1四半期	35.14	
2024年3月期第1四半期	10.99	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2025年3月期第1四半期	27,903	15,612	56.0	1,063.88
2024年3月期	26,777	15,031	56.1	1,024.32

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 15,612百万円 2024年3月期 15,031百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2025年3月期		0.00		8.00	8.00
2025年3月期(予想)		0.00		8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年3月21日～2025年3月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	14,000	1.5	1,100	12.1	1,100	5.1	700	6.8	47.70
通期	26,500	6.9	1,000	53.0	1,000	55.6	650	8.9	44.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	15,595,050 株	2024年3月期	15,595,050 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	920,272 株	2024年3月期	920,272 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	14,674,778 株	2024年3月期1Q	14,628,595 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・四半期報告書提出予定日: 2024年8月2日
 - ・注記事項(1)には、重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)に関する情報を記載しております。
 - ・将来に関する記述等についてのご注意
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結結果計期間におけるわが国経済は、原材料・エネルギー価格の高騰や円安基調による物価上昇の影響が続く状況ではあったものの、企業収益や雇用・所得環境の改善により緩やかに回復しました。一方、海外においては、欧米における政策金利の引き上げや中東地域をめぐる情勢、中国経済の先行き懸念による景気の下振れリスクを抱え、先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループが関連する業界におきましては、オート機器及び情報機器の分野では、前年に引き続き設備投資が好調に推移したものの、生活機器の分野では、物価高騰に伴い個人消費の持ち直しの動きは鈍く、予断を許さない経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは外部環境の変化を前提とした強固な経営基盤の再構築と次の成長フェーズに向けた構造改革の推進により、グループ全体の最適化とシナジー強化、収益力の向上に努めてまいりました。また、お客様や社会における多様なニーズやその変化に応えるべく、高付加価値商品の研究開発に注力するとともにメンテナンス体制の強化を図り、モノづくりとサービスの高度化に取り組んでおります。そして、SDGsや脱炭素社会の実現を含む様々な課題を“美・食・住”の視点から探求し、新しい事業、製品及びサービスのデザインを通じて、持続可能な社会の実現と中長期的な企業価値の向上を目指しております。

この結果、当第1四半期連結結果計期間の売上高は70億4千万円（前年同期比14.0%増）、営業利益は7億3千1百万円（前年同期比168.6%増）、経常利益は7億6千8百万円（前年同期比161.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億1千5百万円（前年同期比220.8%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(モビリティ&サービス事業)

主力の門型洗車機は、SS（サービスステーション）向けでは、政府助成事業による補助金制度の対象外となりましたが、脱炭素社会に向けたモビリティの電動化が進む中、油外収益向上に向けた旺盛な設備投資意欲に支えられて売上げが伸長し、カーディーラー向けでは、前年同様整備作業の省力化需要により、売上げが好調に推移しました。オイル機器は、ローリーの売上げが伸び悩んだものの、エアコンプレッシャーは堅調に推移しました。情報機器では、官公需向け道路情報板の売上げが前年実績を下回ったものの、SS向け表示機は前年並みに推移しました。一方、工事用保安機器は新機種投入が奏功し、大型LEDビジョンは大手顧客からの受注増により前年実績を大きく上回りました。

政府助成事業による補助金効果は、前年第2四半期以降の売上げに寄与したため、全体としては、売上高は前年同期と比較し増加しました。その結果、売上高は前年同期比17.4%増の49億9千5百万円となりました。

(ライフ&サポート事業)

主力製品の低温貯蔵庫、保冷米びつ、電気せいろなどの家電商品は、需要の回復が見られず売上げは前年実績を下回りました。一方、BtoBでの需要の取り込みに注力した結果、音響関連商品は特定顧客向け製品の受注により売上げが伸長し、攪拌機は官庁物件の受注増により売上げを伸ばしました。また、食品加工機は、設備投資の回復や海外市場の経済活動の進展により好調を維持したことから、売上げは前年実績を上回りました。

その結果、売上高は前年同期比11.7%増の13億1千9百万円となりました。

(住設機器事業)

住設機器としては、主に木・アルミ複合断熱建具、反射板式消音装置、鋼製防火扉等を製造・販売しております。建築資材価格の高止まりや人手不足の影響により、建築計画の見直しや延期もありますが、木・アルミ複合断熱建具は、脱炭素社会の実現に向けて、木材利用の加速やZEB化に向けた高断熱建材の需要増加などが追い風となり好調を維持しています。また、民間企業の社屋や施設においても木質化が進み、木・アルミ複合断熱製品の採用は広がりを見せており、売上げを伸ばしました。消音装置についても、都市部の再開発事業、データセンター、ホテル、学校関係での需要が増加しております。しかしながら、大型案件は下期での売上計上を予定していることから、全体としては前期実績を下回りました。

その結果、売上高は前年同期比1.7%減の6億4千1百万円となりました。

(その他の事業)

保険代理業、不動産管理・賃貸業及び長野リンドンプラザホテルの運営に係るホテル業が主体となります。ホテル業は、ビジネス客が中心のためインバウンド需要による恩恵は乏しく、また同業他社との競争も激化しております。宿泊需要は、コロナ禍前の水準に回復してきておりますが、前年同期は長野県の全国旅行支援「信州割SPECIAL」の後押しがあったため、当第1四半期連結結果計期間の売上げは前年実績を下回りました。

その結果、売上高は前年同期比2.7%減の8千4百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11億2千5百万円増加し279億3百万円となりました。流動資産は12億1百万円増の186億4千5百万円、固定資産は7千5百万円減の92億5千8百万円となりました。これは主に事業の閑繁等の季節的要因に伴い受取手形、売掛金及び契約資産が9億6千6百万円増加したことと、棚卸資産が4億5千2百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ5億4千5百万円増加し122億9千1百万円となりました。流動負債は3億4千3百万円増の102億4千4百万円、固定負債は2億1百万円増の20億4千6百万円となりました。これは主に短期借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ5億8千万円増加し、156億1千2百万円となりました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月26日発表の「2024年3月期決算短信」で公表しました2025年3月期第2四半期(累計)連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2024年7月26日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,870,322	4,724,553
受取手形、売掛金及び契約資産	5,040,255	6,006,352
商品及び製品	2,610,928	2,852,560
仕掛品	1,666,730	1,680,430
原材料及び貯蔵品	2,802,101	2,999,352
その他	467,747	397,496
貸倒引当金	△14,430	△15,701
流動資産合計	17,443,655	18,645,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,505,861	1,474,202
機械装置及び運搬具(純額)	132,695	122,291
土地	3,110,030	3,110,030
その他(純額)	214,432	217,730
有形固定資産合計	4,963,021	4,924,255
無形固定資産		
のれん	232,289	199,593
その他	765,241	749,041
無形固定資産合計	997,530	948,634
投資その他の資産	3,373,286	3,385,310
固定資産合計	9,333,838	9,258,200
資産合計	26,777,493	27,903,244

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,292,338	1,657,448
短期借入金	1,600,000	1,990,000
1年内返済予定の長期借入金	976,896	1,049,536
未払金	4,122,893	4,456,835
未払法人税等	517,960	130,186
賞与引当金	557,560	317,020
引当金	133,324	133,324
その他	700,185	510,280
流動負債合計	9,901,157	10,244,631
固定負債		
長期借入金	1,033,310	1,069,496
退職給付に係る負債	276,209	272,796
その他	535,181	704,109
固定負債合計	1,844,700	2,046,402
負債合計	11,745,857	12,291,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,373,552	3,373,552
資本剰余金	2,935,630	2,935,630
利益剰余金	7,908,982	8,307,236
自己株式	△429,433	△429,433
株主資本合計	13,788,731	14,186,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	770,464	770,280
繰延ヘッジ損益	—	1,761
為替換算調整勘定	566,894	747,780
退職給付に係る調整累計額	△94,454	△94,598
その他の包括利益累計額合計	1,242,904	1,425,223
純資産合計	15,031,635	15,612,209
負債純資産合計	26,777,493	27,903,244

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年6月20日)
売上高	6,175,610	7,040,822
売上原価	4,201,148	4,575,345
売上総利益	1,974,461	2,465,477
販売費及び一般管理費	1,701,993	1,733,650
営業利益	272,468	731,826
営業外収益		
受取配当金	13,576	15,835
その他	20,240	30,159
営業外収益合計	33,816	45,994
営業外費用		
支払利息	8,706	5,957
その他	4,061	3,381
営業外費用合計	12,767	9,339
経常利益	293,517	768,482
特別利益		
固定資産売却益	326	—
特別利益合計	326	—
特別損失		
減損損失	—	14,994
特別損失合計	—	14,994
税金等調整前四半期純利益	293,844	753,488
法人税、住民税及び事業税	70,514	106,758
法人税等調整額	62,603	131,077
法人税等合計	133,117	237,835
四半期純利益	160,727	515,652
親会社株主に帰属する四半期純利益	160,727	515,652

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年6月20日)
四半期純利益	160,727	515,652
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	102,335	△184
繰延ヘッジ損益	635	1,761
為替換算調整勘定	18,116	180,886
退職給付に係る調整額	713	△143
その他の包括利益合計	121,800	182,319
四半期包括利益	282,528	697,971
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	282,528	697,971

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年3月21日至2023年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モビリティ& サービス事業	ライフ& サポート事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	4,254,750	1,181,091	652,630	87,137	6,175,610	—	6,175,610
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,254,750	1,181,091	652,630	87,137	6,175,610	—	6,175,610
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,338	180,341	300	36,390	218,371	△218,371	—
計	4,256,089	1,361,432	652,930	123,528	6,393,981	△218,371	6,175,610
セグメント利益又は損失 (△)	612,656	△41,707	13,886	39,657	624,493	△352,024	272,468

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△352,024千円には、セグメント間取引消去6,717千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△358,741千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年3月21日至2024年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モビリティ& サービス事業	ライフ& サポート事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	4,995,392	1,319,222	641,388	84,819	7,040,822	—	7,040,822
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,995,392	1,319,222	641,388	84,819	7,040,822	—	7,040,822
セグメント間の内部 売上高又は振替高	476	200,801	—	38,129	239,407	△239,407	—
計	4,995,868	1,520,024	641,388	122,949	7,280,230	△239,407	7,040,822
セグメント利益又は損失 (△)	889,140	119,662	35,424	32,479	1,076,706	△344,879	731,826

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△344,879千円には、セグメント間取引消去6,789千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△351,669千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

「ライフ&サポート事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては14,994千円であります。